

九州地方整備局 入札監視委員会第二部会 審議概要

開催日及び場所	令和7年6月23日(月) 東福第二ビル 101会議室	
委員	山城 賢(大学院教授)、大脇 成昭(大学院教授) 順不同	
審議対象期間	令和6年10月1日～令和7年3月31日	
抽出案件	総件数 8件	(備考) ・審議対象期間内に契約した案件の契約方式毎の概要を報告 ・審議対象期間内における指名停止の運用状況を報告 ・一者応札、不調・不落、高落札率、再度入札における一位不動、低入札、入札談合に関する情報等への対応状況を報告
一般競争	3件	
工事希望型競争	0件 対象期間中の案件無し	
指名競争	0件 対象期間中の案件無し	
随意契約	0件 対象期間中の案件無し	
建設コンサルタント業務等	2件	
物品及び役務	1件	
少額随意契約	2件	
委員からの意見・質問、 それに対する回答等 (主な審議内容)	意見・質問	回答
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見の 具申又は勧告の内容	なし	

(別紙) 令和7年度 第1回入札監視委員会 (令和7年6月23日)

	意見・質問	回答
委員からの意見・質問、 それに対する回答等	【 工 事 】 (政府調達に関する協定適用対象工事) ①令和6年度八代港大築島土砂処分場護岸 裏込工事 A. 大築島は埋め立てて何に使われる島なのか。 A. 用途が緑地ということは、緑地として一旦完成させて、その後どのように使用していくのか決めるということなのか。 B. 大築島の整備自体は、全体として何年を計画しているのか。 C. 部分的に分けて県や国が整備しているのか。 D. シミュレーションではJV含め83社で申請業者は8社だったが、想定に比べて多かったのか、少なかったのか。 E. シミュレーションの83社は、資格や同種工事も踏まえてのシミュレーションなのか。 F. 申請8社中の2社がJVであるが、JVで申請する理由は落札しやすいからなのか。	A'. 公有水面埋立免許願書の用途としては緑地となっている。 A'. 現時点では緑地を予定しているが、八代港の中長期ビジョンに関する検討会でも土地活用案が出ているところである。 B'. 全体計画は平成19年から令和12年までを予定している。 C'. 護岸を区分けして県と国で整備している。 D'. 参加者のうち2社はJVであり、少ないとは考えていない。 E'. 港湾土木の資格と客観点数、平成21年度以降に行った工事の実績をもとにシミュレーションしている。 F'. 技術者を各企業から選出するので現場管理はやりやすいと思うが、JVだから落札しやすいということではないと考える。
	【 工 事 】 (政府調達以外・港湾土木) ②令和6年度志布志港(若浜地区)防波堤 (沖) 外1件ブロック製作工事 A. 契約規模の決め方として、予算の制約、ブロックの置場等、消極的な観点からなのか、それとも近隣の中小企業へ向けての発注のため、積極的な観点から決めているのか。	A'. 予算の確保状況、受注業者の状況などもあるが、限られた現場条件を勘案し、しっかりと施工計画の提案を求めるためにチャレンジ型を採用し、契約規模を決定している。

(別紙) 令和7年度 第1回入札監視委員会 (令和7年6月23日)

	意見・質問	回答
	B. チャレンジ型採用で受注した業者において、担い手確保の成果につながった事例はあるのか。	B'. 工事の施工については、品質確保調整会議において調整しながら進めており、今回の工事の若手技術者の配置等については聞くことができていない部分はあるが、提案された施工計画が適正に行われており、今後の担い手確保につながると考えている。
	【工事】 (政府調達以外・港湾土木以外) ③令和6年度荻田港(本港地区)航路(ー13m)浚渫工事 A. シミュレーションは、グラブ浚渫船を保有していることや地域条件など全て踏まえて該当する業者が、21社いるものなのか。 B. 調査基準価格同額で入札している業者が3社あるが、結果的に見ると、予定価格をもっと下げても良いのではないのか。 C. 今回の工事は難易度をⅢと設定しているが、難易度はどのように決めているのか。 D. 難易度と技術提案への課題はリンクしているのか。	。A'. グラブ浚渫船を自社保有していなくても、用意出来る環境にある業者であれば競争に参加できる。グラブ浚渫船の保有はシミュレーションの条件としていない。 B'. 予定価格は積算基準を基に標準価格として設定、調査基準価格は予定価格を元に算定しており、調査基準価格以下で受注すると工事が適切に施工できない可能性があるとして設定している価格であり、調査基準価格から予定価格の間で入札することが適正だと考えている。 C'. 技術的難易度の評価基準があり、今回の工事では判定の考え方にB判定が3つあったことから、やや難ということで難易度Ⅲに設定している。 D'. 技術提案への課題に関しては、技術的難易度や過去の課題等を考慮して決定している。
	【建設コンサルタント業務等】 (簡易公募型プロポーザル) ④令和6年度博多港需要予測検討業務 A. 専門性の高い業務だということは理解でき、シミュレーションの際も対象業者が十分にあったということのようだが、A等級に限定される理由は何か。	A'. 当局の選定基準のルールとして、業務規模に見合う対象者が20社以上いれば該当等級のみとし、不足していれば他の等級も拡大するということになるが、今回は20社以上いたため、業務の規模に見合うA等級に限定している。

(別紙) 令和7年度 第1回入札監視委員会 (令和7年6月23日)

	意見・質問	回答
	B. 将来需要予測の将来とはいつまでを予測しているのか。 C. 予測資料等は国土交通省が多く持っているように思うが、実際の調査の際、ヒアリングや資料提供するのは、国土交通省も対象となるのか。	B. B/C評価の単位である50年を将来と設定している。 C. 予測に必要な港湾統計のデータは港湾管理者が持っているが、国土交通省が持っているデータについても利用することがある。この場合は、受注者が国交省へ申請し入手している。
	【建設コンサルタント業務等】 (参加者の有無を確認する公募手続きを行った契約) ⑤令和6年度ゴミ回収予測に関する検討調査 A. 成果物であるデータの使い道を教えて欲しい。 B. 昨年と同じ選定方式であったが、内容がかなり特殊であり、各年度で積み上げてきた内容があるため、今後も変わらず同じような選定方式が続くということになるのか。 C. 特殊な業務内容だが、見積金額の妥当性は確認できるのか。	A'. 今年度システムの試作品を作り、これまでの実績を検証しながら、データの蓄積を進めていくことを考えている。 B'. 委員ご指摘のとおり、本業務は特殊な技術が必要とする業務であるため、今後も確認の為の公募を行う選定方式を想定している。 C'. 内容を確認して、問題なければその見積金額を予定価格として扱っている。
	【物品及び役務】 (一般競争) ⑥令和6年度調査観測兼清掃船「海煌」修理工事 A. 入札参加資格について、総トン数195トンの整備に対してC等級まで拡大を行っており、また、20トン以上の検査合格実績としているが問題ないのか。 B. 今回の参加者は2社だが、C等級はいないのか。 C. 本件の船舶は特殊な作業船であるが、20トン以上の施工実績で問題ないのか。 D. 修理期間について、実際はどのくらいの工期が必要になるのか。	A'. 船舶安全法に基づく検査に合格した実績があれば本件の施工に必要な技術力を有していると判断しており、検査対象船舶の下限値が20トンであるため、20トン以上で設定している。 B'. 1社がB等級、1社がC等級である。 C'. 検査は船舶の基本的な検査であり、ゴミ回収装置などは船舶の法定検査対象ではないので問題ない。 D'. 2ヶ月あれば可能である。

(別紙) 令和7年度 第1回入札監視委員会 (令和7年6月23日)

	意見・質問	回答
	【少額随意契約】 (随意契約) ⑦ドローン2機外12点購入 ⑧VRゴーグル3個外2点購入 A. スケジュールで⑦と⑧の購入時期がずれているのは、当初は一体的に購入を考えていたが、業者へヒアリングしたところ、どちらも扱っている業者がいなかったということか。 B. 仮に初めから予算がついていたときは、⑦と⑧のどちらも扱っている業者がいたかもしれないのか。 C. 広報への活用及び操作習熟を目的として購入しているが、それ以外の目的としての活用に関しても考えているのか。 D. 予定価格は業者へ知らせているのか。 E. 落札率100%なのはなぜか。	A'. 初めに⑦のみ購入しようとしていたが、予算確保が出来たため⑧の購入手続きを開始した。 B'. その可能性はあったと思う。 C'. 内閣府へこの目的として購入の申請を出しているため、今のところ広報・操作習熟以外の目的で使用する予定はない。 D'. 業者へは知らせていない。 E. 今回の件については、複数者から参考見積を取り、最低額を予定価格としているが、本見積の額と同額であったため。
	【全体】 抽出事案について、不適切な点や改善すべき点は認められず、適正に契約が執行されている。	